



GILLETTE ORDERS

Ferdinando Frega — Nando the Scribe

GILLETTEの注文

「Gilletteの最初の注文書。紙よりもはるか昔、インクよりもはるか昔」

あのいまましい隣人は、毎朝同じ問題を抱えていた。食事中に毛皮を脂で汚してしまい、落とす手立てがない — 洗剤屋はまだ市場に来ていなかったし、杭上住居はあるものだけで暮らしていた。

求愛の約束があった。二番目の区画の原始の娘が、母親と叔母と一緒に待っている。一点の瑕もなく現れなければならなかった。

問題は残ったままだ。どう解決するか。

そこへカナダから先住民の商人がやって来た。クリー語で書かれた最初の注文書を携えていて、ひと目で見抜いた。毛皮をきれいに保つというこの一件を解決した者はまだ誰もいない — そして、その隙間から市場が生まれたのだと。

そのとき、ひらめいた。

落とせないなら、傷んだところを切り取れ。刃を使え。

Gilletteの注文書が生まれたのはその瞬間だ — はるか後年、1800年代半ばのアメリカ市場で使われることになる、あの注文書である。

だが仕組みは一度も変わらなかった。落とせないなら、切ったほうがいい。そしてその瞬間から、それは止まることがなかった。

フェルディナンド